

# アーセックと資本提携

## GPSSホールディングス

### バイオガス事業を加速

再エネ発電所の開  
発、建設、運営などを  
手掛けるGPSSホー  
ルディングス(東京・  
港、目崎雅昭社長、☎  
03・6435・23  
91)は、バイオガス  
分野で実績のあるアー  
セック(東京・港、三  
嶋大介社長、☎03・  
6912・0844)と資本業務提携を行っ  
た。GPSSグループ  
の開発力とアーセック  
の技術力が一つとな  
り、バイオガス事業を  
加速させていく。

GPSSグループ  
は、「地域から社会をサ  
ステナブルに」という  
経営理念のもと、地域  
とともに、太陽光、風  
力、中小水力、地熱、バ  
イオガスと、五つの分  
野で発電事業を推進。



バイオガス発電所

サステナブルエネルギ  
ー事業への投資、エン  
ジニアリング、コンサ  
ルティングも行ってお  
り、これまで全国で1  
25カ所以上の発電所  
を建設している。

今回提携するアーセ  
ックは、バイオガス発  
電の導入に関するコ  
ンサルティングや事  
業企画を行う企業で  
同分野では業界トッ  
プクラスの実績とノ  
ウハウを誇る。GP  
SSは、今回の提携  
により「5年後には  
バイオガス発電単体  
で、国内100カ所  
の発電量を目標に事  
業を拡大、業界でイ

ノーションを起こ  
したい」と意欲を不  
す。

同グループは地域が  
持つ未利用資源だけ  
なく、問題になってい  
る廃棄物(資源)を、  
技術、知見、投資によ  
って所得に変える試み  
を地域とともに行って  
いる。バイオガスは五  
つの電源の中で唯一、  
資源供給を地域に依存  
するため、他の再エネ  
電源以上に地域のステ  
ークホルダー(例えば  
牛ふんの処理に困って  
いる酪農家や原料を持  
つ地域の事業者)が、  
主体的に事業を進める  
必要があると考える。  
GPSSはそのための

効率的な仕組みの提供  
も行う。

また、液肥利用が難  
しいエリア向けに、安  
価で信頼性の高い水処  
理技術を導入できる体  
制を整える。これによ  
り、これまでバイオガ  
ス発電の導入が難しか  
ったエリアにも可能性  
が広がるとみている。  
さらにすでに建設後の  
案件でも消化液の利用  
で困っていたり、原料  
調達計画通りに進ん  
でいなかったりなど問  
題を抱える案件にも事  
業者とともに積極的事  
業改善を行う、いわゆ  
る「リパワリング」事  
業も推進していく。